

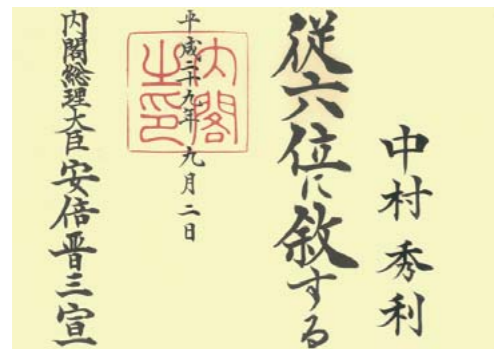
受賞おめでとうございます

特旨叙位（従六位）受章

故 中村 秀利さん(入佐)

10月27日、町長から故中村秀利さんのご遺族に叙位が伝達されました。

この叙位は、長年の地方自治功労者のうち功績顕著な方に対して天皇陛下から授与されるもので、故中村さんは、昭和46年4月に矢部町議会議員に初当選以来、平成9年9月まで、通算7期26年4ヶ月に渡り在職され、経済常任委員会委員長、建設常任委員会委員、厚生常任委員会委員、議会選出の監査委員を歴任されるなど、町の進展に大きく貢献されました。



山都町表彰

11月2日、本町の町政の発展及び町民の福祉の増進に寄与し、その功績が顕著で、町民の模範となる方へ、表彰を行いました。

平成7年より交通指導員の任に就かれ、「地域の交通安全は地域で作る」という強い信念のもと、交差点における朝、夕の街頭指導のほか、春・秋・年末等の交通安全運動の諸行事に率先して取り組み、地域の交通安全、秩序の維持に尽力いただきました。

また、これまで山都町交通指導員蘇陽方面隊長や馬見原支部長等を歴任され、本年3月に交通指導員の職を辞されましたが、現在も、山都地区交通安全協会副会長として町の交通安全のために活躍されています。



七高 照二さん

町長室から

梅田 穰

色鮮やかな紅葉の季節が過ぎ、山都の山々も冬の景色になり、九州山地の山頂には積雪を見る日が多くなりました。

新しい議会の構成も決まりましたが、議会とは緊張感を保ちながら議論を重ね、また意見をいただきながら町政運営に当たりたいと思います。

11月9日に九州防衛局より大矢野原演習場における日米共同訓練の概要が公表されました。12月8日より20日まで13日間、オスプレイ4機を含む米海兵隊約400名、陸上自衛隊約350名規模の夜間訓練を含む訓練とのことです。早速、県や関係4町と連携し、安全で事故のない訓練と、町民の皆さんへの周知・説明等を徹底するため、住民説明会の開催を申し入れ、要望・意見を聞き適切な対応をお願いしたところです。

いと意気込んでおられます。町としても強力にバックアップしたいと思っています。

11月12日には「地下水と土を育む農畜産物産地ツアーと収穫祭」において県内自治体初となる「くまもとグリーン農業推進宣言」を宣言しました。長い歴史を持つ本町の有機農業をはじめ、環境に優しい農業を推進し、町が掲げる有機農業を核とした農業所得の向上を図り、農業者にとって一層の励みとなる第一歩にしたいと思っています。

11月17・18日は「全国石橋サミット」を開催し、全国から石橋ファンや研究者、関係する行政の代表が集っていただき、石橋の魅力や、地震被害により修復中の通潤橋をはじめとした緑川流域の石橋群の素晴らしさを熱く語り合っていました。

また、その中で、山都町で取り組まれている石工養成講座への期待の大きさに驚かされました。関係者と一体となって、今後長い取り組みが出来る施策を講じながら多くの石工をはじめとする人材を育みたいと思います。

第2回食農観光塾 公開講座を開催しました。

11月20日役場蘇陽支所営農センター大研修室において「自分たちの未来をどう創造(つく)りますか」をテーマに第2回食農観光塾を公開講座で開催しました。塾生をはじめ、町内外から約60名の参加があり、第1部では「実践者から学ぶ。地域リーダーとしてのあり方は」と題し、神奈川県伊勢原市でジェラート店(株式会社めぐり)と牧場(有限会社石田牧場)を営んでいる石田陽一さんの講演が行われました。講演では、牛の飼育を通じて子どもたちにいのちと食を伝える取り組みや、ジェラート作りを介して農家とお客様の間に笑顔の“めぐり”を作り伊勢原を農業から盛り上げる取り組みについてお話がありました。

また、第2部のワークショップでは4班に分かれ、10年後、20年後を見据えた自分や町の未来像について想定される課題や悩み、解決に向けた取り組みなどを個々で考え、グループ内で共有を行いました。



石田陽一さんの講演の様子



ワークショップの様子

株式会社MARUKUと企業立地協定を締結

～起業化と企業立地を県と町が支援～

11月10日熊本県庁で、株式会社 MARUKU と本町において、熊本県小野副知事立会いのもと、企業立地に伴う調印式が行われました。同社は、IT 関連事業を展開する企業で、本社を浜町に置き、平成29年7月24日に設立されました。事業内容は、インターネットを活用したWEBインテグレーション事業及び地方創生ICT事業で、平成30年1月から操業開始予定です。

現在、光情報通信基盤整備事業を進めている本町にとって、IT企業の進出は、新たな雇用形態の創造や人材育成にもつながり、また地域経済への波及効果も大いに期待されます。



左：熊本県小野副知事 中央：株式会社 MARUKU 小山社長 右：梅田町長

柳家花緑さん独演会

～シャレタ男にシャレタ町～

10月31日、馬見原公民館で柳家花緑独演会が行われました。今回で7回目となるこの独演会は、町内や五ヶ瀬町、高千穂町の小中学生を招待した昼の部と、住民の方に楽しんでもらう夜の部が開催されました。

昼の部では、初めて落語を聞く子どもたちも、映像が思い浮かぶような巧みな話し方に魅了され、声をあげて笑ったりと楽しんでいました。

夜の部では自著本の販売が行われ、その売上金を熊本地震からの復興にと通潤橋復興基金へ寄附いただきました。

